

第8回 阿蘇大橋地区復旧技術検討会

<議 事 要 旨>

令和2年3月31日

- 斜面崩壊部と道路決壊部の対策工に関して、工事概成を確認した。
- 工事期間中の崩壊地周辺斜面の不安定化兆候は認められない。
(工事安全管理のための監視・観測機器(地盤伸縮計、地盤傾斜計、パイプ歪計)は撤去。)
- また、道路欠壊部においても表層及び地中部について目立った変状・変動は認められない。
- 崩壊地斜面及び道路欠壊部において工事概成したものの、崩壊斜面における被災規模を鑑み大雨等の影響による、斜面や構造物の安全性について確認を実施する必要がある、引き続き、監視観測を行うこと。
- 現道供用後の監視体制について検討し、次回検討会へ報告すること。
(工事が概成し安全性の確認後の供用が可能な状態になったものの、現道部に関しては、道路利用者の安全確保の観点から雨量規制や構造物(対策工施設)の目視点検・計測頻度を検討すること)